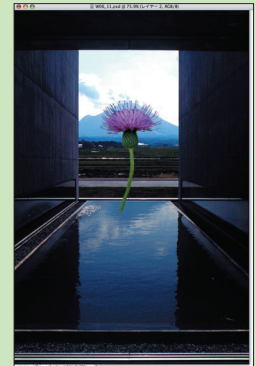
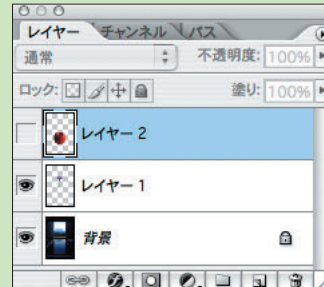
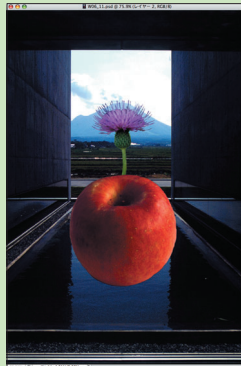
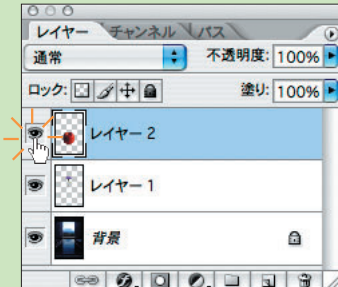


6-11 Photoshopのレイヤー機能について

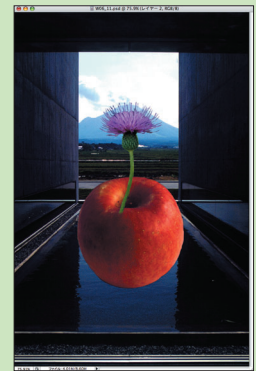
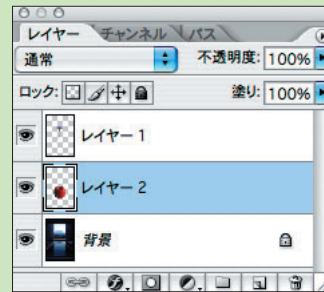
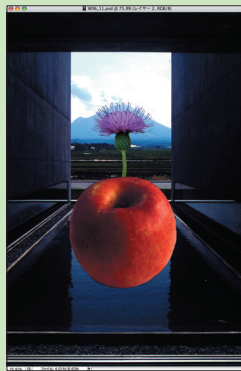
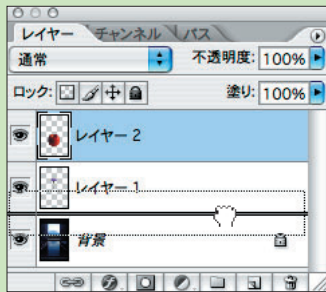
Photoshopのレイヤー機能を使えば、他のレイヤーに変化をあたえずに、個別のレイヤーごとに画像処理が行える。レイヤーの基本操作について説明しよう。

Photoshopのレイヤーの基本操作

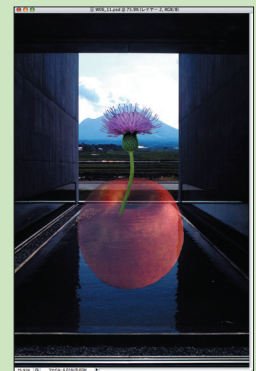
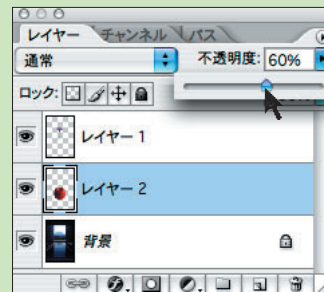
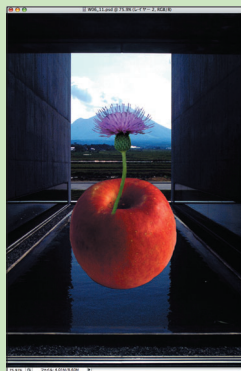
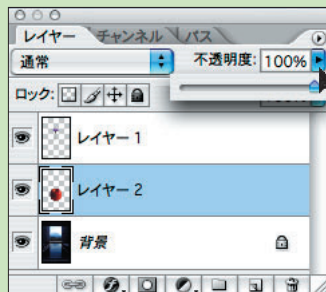
■レイヤーの表示・非表示を切り替えられる。



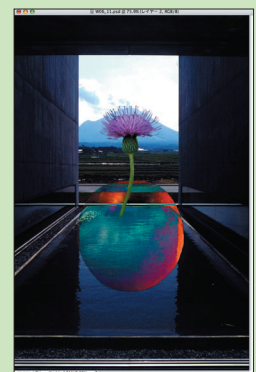
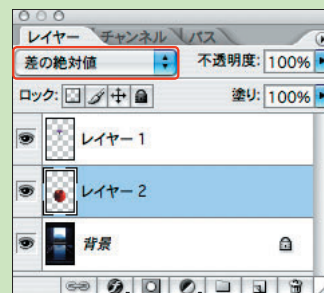
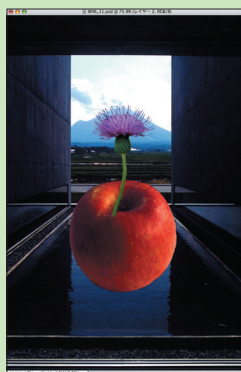
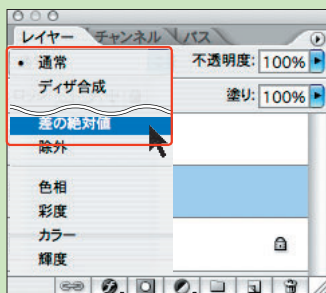
■レイヤーの重なる順番を入れ替えられる（背景レイヤーを除く）。



■レイヤーを半透明にすることができる（背景レイヤーを除く）。



■下のレイヤーとの相互関係を設定できる（背景レイヤーを除く）。



Photoshopのレイヤーパレットの主な項目（画面はPhotoshop CS2）

描画モードボックス

選択したレイヤーと下のレイヤーの重なり方を指定する。

【レイヤーの表示 / 非表示】ボタン

レイヤーの表示・非表示を切り替える。

調整レイヤー

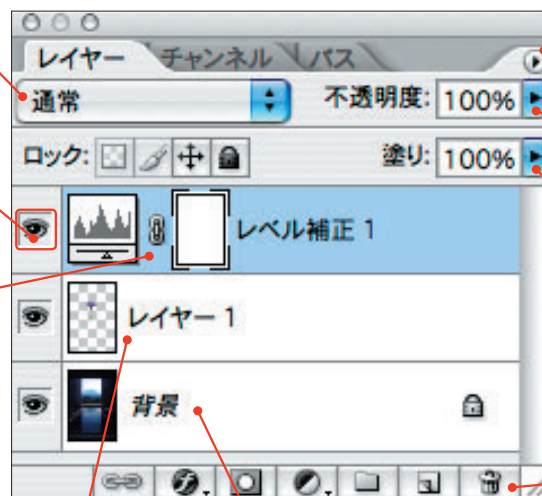
画像の色味や明るさを補正するときに使用する。
青く色がついているのは、このレイヤーが選択中で編集対象となっているため（色は設定によるので、必ずしも青とは限らない）。

通常のレイヤー

画像を重ねるときに使用する。サムネールには、画像の内容が縮小表示される。

背景レイヤー

デジタルカメラの画像などを開くと、一番下に表示される。重なり順や不透明度を変更することはできない。



【詳細】ボタン

クリックすると、レイヤーの編集に関するメニューが表示される。

不透明度ボックス

レイヤーを半透明にする。

塗りの不透明度ボックス

レイヤー上でペイントされたピクセルをレイヤー効果の不透明度には影響せず半透明にする。

【レイヤーを削除】ボタン

選択中のレイヤーを削除する。

◆ワンポイント

レイヤーを編集するときは、編集したいレイヤーを選択して作業する。選択中はレイヤーパレットに色がついて表示される。上図では青く色がついている調整レイヤーが選択中と分かる。

なお、見えているレイヤー＝編集したいレイヤーとは限らない。作業していても思うような変化が得られない時は、レイヤーパレットで目的のレイヤーが選択されているか確認してみよう。